

平成20年度 第63回国民体育大会 関東ブロック大会 バasketボール競技

平成 20 年 8 月 17 日 (日) 試合開始 10:30 試合終了 11:50

【少年男子】 準決勝 富士北麓公園 体育館 Bコート 第 2 試合

埼	玉	86	$\left\{ \begin{array}{l} 18 - 17 \\ 18 - 18 \\ 30 - 15 \\ 20 - 31 \\ - \end{array} \right.$	81	茨	城
---	---	----	--	----	---	---

埼 玉

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー	
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計					
4*	清水 隆 亮	14	1	4	5	10	1	2	1	4	2	6	1	0	0	5	
5*	新田 華武伊	4	0	1	2	6	0	2	2	8	3	11	3	3	6	2	
6	藤森 康 平																
7*	馬場 健 司	33	4	6	9	13	3	4	2	2	1	3	2	6	0	1	
8	中居 秀 貴																
9	戸ヶ崎 祥 一																
10	大久保 亮																
11	武内 健																
12*	平田 匠	18	2	2	4	13	4	4	1	4	0	4	5	2	0	8	
13	泉 秀 岳																
14*	小原 宏 太	17	1	2	6	9	2	5	2	4	2	6	4	1	0	2	
15	倉林 紀 和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
HC 井上 裕史 / チーム										0	0	1				0	
合 計			86	8	15	26	51	10	17	8	22	8	31	15	12	6	19

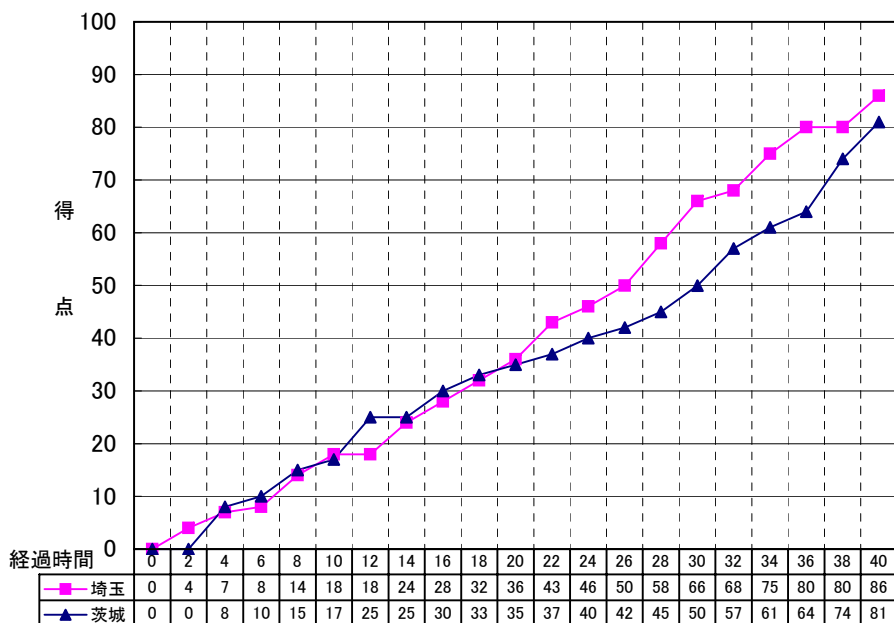
*はスターティングメンバーを表す 確率 53.3% 51.0% 58.8%

茨 城

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト パ ス	スティール	ブロック ショット	ターン オーバー	
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計					
4*	牧山 康 太	6	2	6	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8	
5*	来栖 祥 太	15	3	7	3	6	0	0	3	1	2	3	0	1	0	4	
6*	飛田 浩 明	13	3	10	0	2	4	5	1	8	0	8	0	2	1	3	
7	小川 俊 樹																
8	浜田 将 行	22	6	11	2	8	0	2	4	1	2	3	5	3	0	2	
9	猪狩 承 平	8	1	4	2	4	1	2	2	1	3	4	0	2	0	0	
10	畑 昂 志	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	
11	馬場 慶 志																
12	岩崎 貴 宏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	泉 栄 人																
14*	神池 隆 浩	5	0	0	2	7	1	1	2	3	0	3	0	0	1	0	
15*	松岡 一 成	10	0	0	5	6	0	0	3	8	2	10	0	2	0	2	
HC 佐藤 豊文 / チーム			0							1		1				0	
合 計			81	15	38	15	37	6	10	17	24	9	33	5	10	2	20

*はスターティングメンバーを表す 確率 39.5% 40.5% 60.0%

2分毎による得点の推移



戦 評

大分への代表権をかけた大切な試合。両チーム、ハーフのマンツーマンでスタートする。埼玉⑫平田ミドルシュート、⑭小原の1対1などで埼玉がリードを広げる。茨城はディフェンスを3-2のゾーンに変えリズムを取り戻すが、埼玉⑭小原のミドルシュートなどで埼玉1点リードで1Qを終了。2Q、茨城はハーフのゾーンプレスでプレッシャーをかけ、攻めでは⑩神池のポストプレーなどで加点しリズムをつかみ出す。埼玉も再びゾーンに変え一進一退の攻防が続き、埼玉1点リードのまま前半を終了する。後半、両チームともゾーンでスタートする。埼玉⑦馬場の連続3Pで引き離しにかかる。茨城も⑥飛田、⑧浜田の3Pで対抗するが、単発になってしまう。埼玉はガードの1対1からの合わせなどで加点し、埼玉16点リードで3Qを終了する。4Q開始早々、茨城は⑨猪狩の連続得点で11点差とする。埼玉はタイムアウト後、落ち着きを取り戻し、ガードの落ち着いたゲーム運びでリードを許さない。終盤、茨城はオルコートプレスと3Pで追いつけるが、終始ガードを中心とした落ち着いたゲーム運びで埼玉が逃げ切り、本大会への代表権を勝ち取った。

主 審 佐藤 弘之 (群馬)

副 審 菅野 秀樹 (山梨)

記入者 山本 裕 (山梨)